パワーピアス・セラピー認定講座

パワーピアスで 心も身体も癒し宣言!

今、美容業界で話題の「耳つぼシール」を使っ た日本で初めての講座が登場。「パワーピア ス・セラピー認定講座 (国際ビジュー・セラピ 一協会)です。

誰にでも簡単・手軽にできる「パワーピアス・セ ラピー認定講座は、つぼの知識はもちろん、 実践が中心の楽しい講座です。

教材の「パワーピアス®」は2010年全国で4万 セットの販売実績をもつヒットアイテム。なによ りも受講の方に喜んでいただける講座です。



受講概要

時間 11:00~16:30 開催日 2011年10月9日(日) *16:30~茶和会自由参加

受講料 28,000 円 認定料 21,000 円

*JLL(一般財団法人日本場外学習協議会)監修・認定の資格が取得できます。)

福岡市天神 場所

講座内容

- --実習--
- ・びっくり! なんと15分で小顔に
- ダイエットのつぼを体験しましょう
- ・いろんな不調改善のつぼ体験
- ・オリジナル パワーピアスを作りましょう

- --講習--
- ・耳つぼの分布、反射作用
- •経穴と経絡、陰陽五行説
- ・パワーピアスのパワー
- ダイエットにも禁煙にも
- ・ママも、お子様も大丈夫

他

◇◇◇ 特典 ◇◇◇

- ① 通常3日のコースを一日で集中取得でき、認定講師(セラピストとして)すぐにお教室を開 講できます。
- ② 教材セットなどを特別価格で購入が可能。
- ③ お教室運営に安心な講師用 WEB 上 Q&A コーナー開設。





验

1







『耳つぼ』できれいに!元気に!

パワーピアス・セラピー認定講座

パワーピアス・セラピーとは

手や足など身体の末端に多く集中しているツボは、身体のさまざまな流れを制御するための"スイッチ"といわれています。なかでも注目されるのが脳から一番近い『耳つぼ』。メディアでも、耳つぼを取り入れたダイエット治療などが頻繁に取り上げられていますが、ピンポイントで『耳つぼ』を刺激するには、一般には鍼が用いられています。

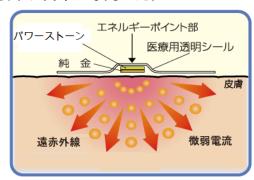
しかし鍼灸師は国家資格であり、施術するのは素人には無理です。そこで、資格の要らない形で鍼灸と同様の効果を得るためにシールタイプが登場しました。しかし、国内に流通している従来品(他社製品)は、ほとんどがシールに金属の粒をつけて耳に貼るもので、金属アレルギーの心配やツボの位置がずれると効果がなかったり、粒がはずれて耳の穴や目に入る危険性があるなど、デメリットがありました。

それと比較して『パワーピアス』は、

- ●肌に触れる部分は純金なので金属アレルギーの心配がない
- ●お灸のように熱くなく、鍼のように痛くない
- ●パワーが放射状に拡がり、多少ツボをずれてもカバーできる
- ●一体型のシールなので安心・安全
- ●スワロフスキーなどのビジューを組み合わせたシールで ファッションとして楽しめる

パワーピアス・セラピーは、耳を華やかに彩りながら『耳つぼ』を利用して、いつの間にか「あれ?何だか調子いいかも!!」と感じられる、そんな健康法です。

この講座は、そんな効果的な『耳つぼ』の使い方を覚えて、自分自身や周りの方を癒すセラピストを養成するものです。



學

【パワーピアス構造】

遠赤外線エネルギーを放射するパワーストーンと純金を重ね合わせて、二つの物質間の電位差により、微弱電流も発生しています。シールは皮膚呼吸を妨げない医療用シールを採用しています。皮膚呼吸とは汗による体温調節のことです。

新しい生徒募集にも最適!生徒さんにも喜ばれる!

- 即効性もあるので、ビーズ作業に疲れた時に指導するなど、お教室活動にも取り入れられます!
- ■一般的な耳ツボ施術による美容・健康面への改善効果に加えファッション性も兼ね備えた新しいアイテムとして、若年層から中高年層まで、幅広い年齢層に楽しんでいただけます!
- ■美容や健康、ダイエット効果もあるので、生徒さんの年齢層にぴったり!



東洋医学では体内をエネルギーが循環する道筋のことを「経絡(けいらく)」と呼びます。 そして内臓に病気が発生するとその臓に関係する経絡に異常が発生します。その中で 特に反応が強い場所が「経穴(けいけつ)」、いわゆる「つぼ」なのです。

ツボを使った治療は2000年以上前から行われてきました。ツボとは、身体の中のさまざまな流れを制御するためのスイッチといわれ、足の裏と同様、耳には多くのツボが集中しています。このスイッチであるツボを刺激することにより、カラダを流れる血液や体液の循環をスムーズにし、それぞれのツボの効果を出していくことが、東洋医学の考え方です。 ※左図のように、耳には非常に多くのツボが存在します。